

令和5年度群馬県立高崎東高等学校3学期始業式式辞

皆さん、こんにちは。令和6年の始まりと共に令和5年度の3学期が始まりました。正月早々、能登半島地震や羽田空港での航空機衝突炎上事故のニュースがありました。今年目標や抱負を語り合い、希望に満ち溢れる新年であることが望ましいのに、いきなり暗いニュースで気分も沈み込みそうです。2学期の始業式で「始業式ブルー」、「夏休み明けの注意期間」の話をしました。実は3学期の始まりもほぼ同じなのです。冬休みは短いですが、学校が始まることへの不安や憂鬱さなどは、夏休みと比べても決して小さくありません。特に3年生にとっては、共通テストを始めとする各種の入試を控え、不安だけでなく緊張感もあると思います。進路内定者についても4月から始まる新生活に期待ばかりでなく不安を感じている人もいるでしょう。1・2年生の中には進級への不安、上級生となることへの心配を抱えている人もいるかもしれません。クリスマスや正月などの楽しみが大きかった分、冬休みが終わってしまったという喪失感、入試本番が始まる、または進級や単位習得がかかる3学期が始まるという緊張感も大きいのだと思います。

このような話題から入ったこの3学期始業式で、皆さんに話したいことは次の2つです。

1つ目は2学期始業式と同じように、第三者的立場から自分を見つめ、そしてその際に少しでも成長している所があれば積極的に自ら自分を認めて自己肯定感を発揮して欲しいということです。どんな小さなことでもいい、例えば今ここにいる、高東の3学期始業式に参加している、参加できている、ということでもいいのです。次に今日から冬休みとは異なる生活サイクルが始まるので、自分にあったルーティーンを作ることです。これも毎度御馴染みの話です。

2つ目はネットリテラシーを身に付け、情報の真偽を判別できる力を養うことです。悲しいことに能登半島地震が起きてすぐフェイクニュースやニセ情報が出回り始めました。過去の震災の映像をSNSにあげたり、被災者でもないのに被災したふりをして支援金を要求するポストをアップしたりする。このような行為は、私は人としてどうかと思います。皆さんはSNSの投稿の真偽を確認することなく拡散することのないようにしてください。現在ではニセ情報を拡散したり、ニセ情報を利用して新たなスレッドを立てたり新ポストを投稿することも、被害者から訴えが起こされれば罰せられることもあります。中には情報を拡散させることで、困っている人がいることを多くの人に知ってもらいたい、という善意で拡散する人もいますかと思えます。その善意を正しく発揮するためにも、発信する前に情報の真偽を確かめてください。

日本は昔より多くの災害に見舞われてきました。地震だけでも私の教員生活の中では、阪神・淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震、そして今回の能登半島地震があります。台風や集中豪雨による災害もあります。特に最近はまだ地球温暖化にともなうと思われる災害も多発するようになりました。その度に、私たちは今後の災害に備えた教訓を残してきました。学校で行われる防災避難訓練もその一つです。また災害の度に人々が助け合ってきたこと、助け合うことの大切さを伝えてきたことも、大事な教訓の一つです。被災地に向けて、今私たちに何ができるか、どのような情報の発信や拡散、または受け止めができるのか、それらを正しく行うためにはどうしたらよいか。考えること、私たち同士で話し合うことはたくさんあります。自分自身を大切にすることは、自分を大事に思ってくれている他者を大切にすることにもつながります。自己を大切にすること、そして今起きている問題について苦しんでいる、困っている人々がいることを認識すること、真偽を確認しつつ考えたことは無理のない範囲で行動に移してみる。年頭にあたり、そして災害の情報に接して私が思うことは以上です。みなさんは何を思うのでしょうか。まずは各自がそれぞれ考えてみてください。以上です。